

2012 年度 小委員会活動成果報告

(2013 年 2 月 8 日作成)

小委員会名	ケーブル・膜構造小委員会	主 査 名： 岡田 章 就任年月： 2012 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 シェル・空間構造運営委員会	委員長名： 中島正愛 主 査 名： 小河利行
設 置 期 間	2012 年 4 月 ～ 2016 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	『ケーブル構造設計指針・同解説』の改定、ならびに接合部の設計方法などに関する設計・施工資料を提示することを目的とする。 ・従来の成果を踏まえて指針の改定項目に関する議論を深める。	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無： 無	
	主査：岡田 章 (日本大学) 幹事：宮里直也 (日本大学) 委員：形山忠輝 (日本鑄造)， 斉藤嘉仁 (太陽工業)， 杉内章浩 (竹中工務店)， 田畑博章 (大林組)， 陳 沛山 (八戸工業大学)， 中島 肇 (清水建設)， 浜崎勇二 (神鋼鋼線工業)， 原田公明 (日建設計)， 樋口 聡 (鹿島建設)， 廣瀬一正 (川口金属工業)， 中川路勇 (大成建設)， 矢島 卓 (東京製綱)	
設置 WG (WG 名：目的)		
2012 年度予算	70,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：

項 目	自己評価
委員会開催数	5 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会承認企画	1. 「シェル・空間構造」セミナー2012 「日本におけるケーブル構造の現状と課題」 参加者数 120 名
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 『ケーブル構造設計指針・同解説』の改定項目を整理することができた。 2. 「シェル・空間構造」セミナー2012 を開催して、現状の問題点の抽出と指針改定項目の論点を明らかにすることができた。
委員会活動の問題点 ・課題	1. セミナー開催に向けて出席率も高く委員会活動は活性化していたものの、全員出席の機会が作れない。